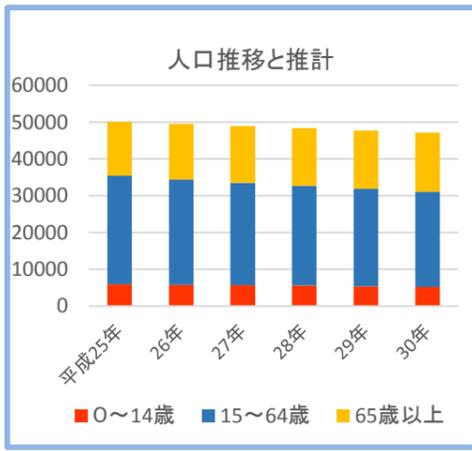


平成29年度 教育活動報告

- 4月20日～ しんしろ助産所：子どもの救急（毎月・第3木曜日）
- 4月27日 豊根村保健センターにこここ広場：キッズマッサージ
- 5月24日～ 職場体験：東郷中学生1名（3日間）
- 5月31日～ 穂の香看護専門学校助産学科：講義
- 6月7日～ 職場体験：新城中学生2名（3日間）
- 6月8日 東栄中学校：ミニパパ・ミニママ 赤ちゃんとの触れ合い体験学習
- 7月10日 しんしろ助産所：ベビーサイン勉強会
- 7月26日～ インターンシップ：新城高校生2名（6日間）
- 8月21日～ 職場体験：鳳来中学生1名（3日間）
- 9月26日 東栄町にこここ広場：子育て相談
- 11月19日 しんしろ助産所：親子教室
- 11月24日 豊根村保健センター：リフレッシュ ヨーガ
- 11月28日 穂の香看護専門学校助産学科：実習開始（5グループ）
- 11月28日 東栄町にこここ広場：ベビーマッサージ
- 11月29日 鳳来寺小学校6年：「いのちの授業」
- 2月1日 新城高校：「いのちの授業」
- 2月26日 庭野小学校3・4年生：保健学習「かけがえのない命」
- 3月8日 豊根村保健センター：ベビーマッサージ
- 3月8日 鳳来中学校：「社会人と語る会」



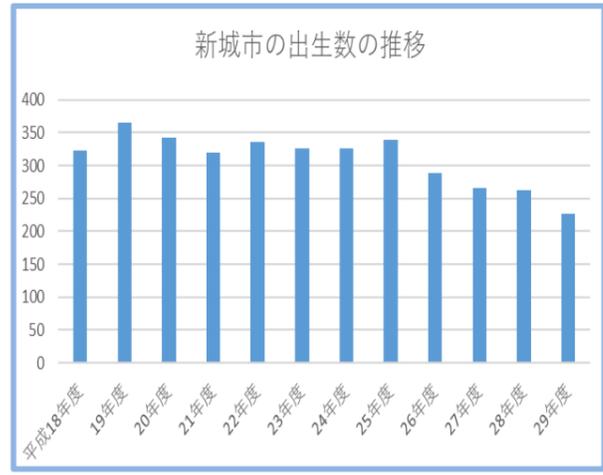
我が国における急速な少子化の原因として、核家族化による子育て力の低下や出産施設の減少、女性の社会進出や晩婚化等が関係していると言われています。新城市も例外ではありません。本市の総人口は平成30年4月1日現在、4万7千84人ですが、3市町村が合併した13年前と比べて6千700人余り減少しています。また人口構成の推移を見ても64歳未満は減少し、65歳以上は増加するなど高齢化が顕著です。また、本市における0～5歳の子

どもの人口は、平成21年から5年間で1割程減少し、2千人余りとなっています。以上から今後とも人口減少が続くと推測されます。国は少子化を鑑み、安心して子どもを産み、健やかに育てることの基礎として、母子の健康水準を向上させるための様々な取り組みを国民全体で行おうと、健やか親子21（第2次）の新たな課題（切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策、学童期・思春期から青年期に向けた保健対策、子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり）をあげています。

しんしろ助産所新聞 第20号

発行元 しんしろ助産所
H23年6月27日

新城市 子育て支援事業の紹介



また、新城市子ども未来課に「子育て世代包括支援センター」が設置され、妊娠から子どもが18歳に達するまで切れ目ない支援がおこなわれています。例えば「子育て総合相談」「産後ケアの助成」「子育てに関する講座の開催」「母乳推進の支援」「ブックスタート」「育児不安に対する家庭訪問」「相談窓口の紹介」「子育て情報誌の作成」「子育て情報専用ホームページの運営」等々。しんしろ助産所においても子育て包括支援センターと連携し、「産後ケア」や「親子愛着推進事業」等をおこなっているほか、地域に存在する助産所として気軽に相談できる場を提供し、母子の健康水準の向上に努めています。

日常に潜む危険

1～4歳児の死因で毎年ほぼ1位になるのが「不慮の事故」。中でも交通事故以上に多いのが、家庭内の事故です。事故を防ぎ、対策するには、まずは家庭内どのような危険が潜んでいるかを知る必要があります。まずは子どもの目線で危険を予測し、その上で以下のような対策をしましょう。

- ・ベランダや窓、洗濯機や流し台の近くに踏み台になる物を置かない。
- ・ドアが急に閉まらないよう、クッション材をかませる。
- ・家具の角を保護する。
- ・階段に滑り止めやガードをつける。
- ・たばこの吸い殻をジュースの缶に入れない。
- ・ブラインドのひもなどは、短くしておく。
- ・のどを滑りやすい物・詰まりやすい物は細かくしたりして注意深く見守る。
- ・錠剤、飲みかけのアルコール飲料を子どもの手の届く所に置かない。
- ・ひもの付いた服を着せるときは、ひもを抜くか短く結んでおく。
- ・お風呂やトイレの入り口は必ず閉めておく。
- ・お風呂に入るとき以外は湯船にため湯をしない。
- ・洗濯機のふたを閉めておく。
- ・蒸気の出る物や熱い物を幼児の手の届く所に置かない。
- ・テーブルクロスを使用しない。
- ・ドライヤー、アイロンなどを出しっ放しにしない。
- ・使っていないコンセントにカバーをはめる。

子どもの行動が危険である場合はその理由を具体的に伝えるようにしましょう。
将来的に自分で考え、危険を回避していく力を身につけるためにも必要ですね。

平成29年度に生まれた赤ちゃん